

山梨県神社庁報

かみかね

第162号（平成25年7月20日）
（富士山 世界文化遺産登録記念）



富士山小御嶽神社 開山祭

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩に感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

神社本庁五月定例評議員会報告

本庁評議員 深 澤 哲 夫

去る五月二十三日～二十五日の三日間、神社本庁大講堂において平成二十五年度春の定例評議員会が開催されました。本県からは根津庁長、中込総代会長、深澤の三名が出席しました。

本庁の大太鼓が開会を告げ、神殿礼拝・国歌斉唱・敬神生活の綱領と進みました。

最初に挨拶に立たれた、北白川道久総理は、第六十二回神宮式年遷宮に向けた諸準備が順調に執り進められているなかで、「去る二月二十五日、畏くも天皇陛下には、遷御の儀斎行の日時を、十月二日に皇大神宮（内宮）、五日には豊受大神宮（外宮）」と御治定遊ばされました。この上は御遷宮完遂に向け万全を期して戴きたい、又斯界を取り巻く情況について、将来を見据え、慎重かつ熱意ある議論を尽くしてほしい」との考えを述べられました。

次にご来賓より祝辞を頂き、休憩をはさんで議事に入りました。議案審議に先立って、田中総長より、「平成二十五年度一般会計予算大綱」が示されました。今年には役員改選の年、予算は新役員の下で実施されるため、通常業務、継続事業の実施を念頭

に置き、第六十二回神宮式年遷宮を踏まえた予算を作成いたしましたと前置きし、歳出予算の三つの柱を示されました。

①本宗奉賛活動、神宮大麻及び暦の頒布が減少しています。増頒布に向けた新しい施策を考察実施いたします。

②本年斎行の遷宮の完遂と御遷宮の伝統を次世代継承のための、広報活動「国宝 大神社展・神宮式年遷宮記念事業・奉祝行事」等を実施いたします。

③教化活動、神社と氏子との関係が更に強化されるよう、情報共有を密にして、本庁・神社庁・支部・神社間の連携を図り、教化体制の一層の充実に向けて取り組みます。又、神職の研修並びに後継者養成につき、制度の見直しを引き続き進めてまいります。予算大綱説明の後、議事に入り、一般会計予算案のほか、財務規定の一部を変更する案まで審議と質疑応答がされた後、報告議案を除く五議案と、追加議案はさらなる慎重審議を図るため、それぞれ予算審議特別委員会（委員は各県一名を選出）・議案審査特別委員会（委員は全体から十三名を選出）を設置して審議を附託して閉会しました。



二日目は、午前中の二つの特別委員会、午後本会を開催、審議を二度三度と重ねた末、平成二十五年度「一般会計予算（五十億六千万円余）」を含む五議案、追加議案の「第六十二回式年遷宮を奉祝し、斯界を挙げて国民総参宮運動と包括下神社の記念事業の推進に取り組み、青少年の教化育成と一千万家庭神宮大麻奉斎に向けて積極的な啓発運動を展開する」を含む五議案」を決定しました。

議事終了後田中総長は、「日本の神道は、布教する信仰ではない。日本人の文化であり伝統である神道を後世の人に、そして世界にどのように発信し、伝えていくのか。その役割を果すのが、今を生きる私たち神職・総代の大きな仕事であろう」と力強く語られました。

全国神社総代会定例代議員会報告

山梨県神社総代会 会長 中 込 豊 秋

緑深き森の明治神宮。その片隅に神社本庁がある。玄關先に清楚な姿の若者数人、いらつしやいませ。ご苦勞様です。すがすがしい物腰に心洗れる思いで館内へ。庁務に仕える職員の仕事に届いた気配り立ち居振る舞いは実に爽やかでした。

初日は全国神社総代会決算。新年度事業計画収支予算案並に役員改選等。役員会並に委員会報告を経て総て承認され、会長に岡村正氏（日本商工会議所会頭）が再任され、ご挨拶の中で「第六十二回式年遷宮に全国から多くの募財が寄せられたことに謝意を表され、なおこの大事業完遂に秋よりの神宮参拝に引き続きご協力の要請。神宮大麻頒布に総代各位の更なるご協力を」と結ばれた。引き続いて九月十日愛媛県松山市に於いて第四十九回全国神社総代会大会への参加要請があった。二十二日明治記念館にて池田厚子総裁御臨席のもと表彰式。一日頃神明奉仕の各位に敬意を表し、更に奉仕に精励して戴き度い旨、一辞を述べられ、北白川道久総理より表彰状が授与されました。夕刻東郷会館にて県内受賞者三氏の祝宴が催されました。二十三日今期の方針を田中恒清総長から「平成二十八年は本庁設立

七十周年を迎えるに当たり百年に向けて本庁のあるべき姿を確立したい。なお収支予算特に歳出執行には重点を旨とする」と極めてオープンな内容でした。同夕各県総代会長に依る懇親会が設営され多種多様な職歴の侍の集まりで、お国自慢から景氣動向、マスコミ批判、自主憲法、日の丸バッチ着用者五名意氣投合、万歳三唱と楽しい一夜でした。二十四日評議員提案議案①自主憲法制定②靖国神社公式参拝を内外に発信③主権国益を守ることを政府並にマスコミに対応

神宮参与同評議員会・

崇敬会代議員会報告

評議員 森 越 義 建

平成二十五年年度「神宮、伊勢神宮崇敬会参与、評議員会」が去る六月七日、神宮崇敬会館大講堂で開催され全国から五百人余が出席した。ちなみに本県は根津庁長以下十八名で参加した。早朝より外宮・内宮に参拝した後、午前十一時から始まり、冒頭、鷹司尚武神宮大宮司の挨拶があり、第六十二回神宮式年遷宮の遷御について、去る二月二十五日に天皇陛下より日時御治定を賜った感激を語り、来る

④昭和天皇の聖徳を永続的に。以上神社本庁に要請する。を決議。二十五日午前九時半より神社本庁総理、理事、監事、常任委員の選任。別室にて選考委員会を開き、結果委員長報告あり審議の末承認された。留任された北白川道久総理ご挨拶のなかで「神社関係の興隆を斯界の版弘のため全力を尽して参り度い」と申された。常任委員に（関東二名）根津庁長が選任された。十二時総て終了。午後二時より六本木ヒルズハリウッドプラザにて「教育再生連絡協議会、発足パネルドイスカッション」パネラー宮川典子代議士は現場体験から実例をあげて問題提起された。

関係者の協力を求めた。続いて功勞者顕彰がおこなわれ、永年式年遷宮御料の菅御笠の調製に尽力している深江稲荷神社深江笠縫保存会（石川健二会長）に顕彰状と記念品が贈呈され、石川会長が謝辞を述べた。その後、来賓を代表し、北白川道久神社本庁総理、鈴木健一伊勢市長が祝辞を述べられた。議事は全国神社総代会理事の菊田寛岩手県神社総代会連合会長が議長を務めて進められました。はじめに高城治延神宮少宮司が神宮の現況について概要を説明され、続いて神宮司庁の各部長が詳細を報告された。文化部からは新設された「せんぐう館」来館者が、六月まで四十六万九千八百六十九人に達したことを述べた。総務部は、昨年度の参拝者数が前年比十四万人増の八百三万九千九百五十五人となり、内宮は十二万九千九百九十五人減、少したものの、地域周辺が整備された影響もあつてか、外宮では二十七万四千余人増加していることなどを述べた。次に伊勢神宮崇敬会阿田三郎事務局長が平成二十四年度事業報告、二十五年度運営方針及び事業計画について説明をした。なお、前日六日には、内宮参集殿で映画「式年遷宮御装束神宝篇」の上映会、ジャニーナリスの櫻井よしこ氏による「日本のびやかなれ」と題する講演会も開かれた。

神社本庁表彰を受けて

諏訪神社 宮司

齋 藤 實

神社本庁表彰式が五月二十二日、東京の明治記念館にて開催され、池田厚子総裁、北白川道久総理御臨席のもと、神職、神社役員等二百七十一人が表彰された。表彰式は午後一時から始まり、池田総裁が「被表彰者の日頃の神明奉仕に敬意と日々の奉仕に一層の精励して戴きたい」との式辞を述べられた。被表彰者の全員の紹介と、北白川道久総理から各号の受彰者代表に表彰状が手渡された。山梨県からは逸見神社の森越義建宮司、本宮神社の堀内邦満役員と私の三名が受彰の栄を戴き、身の引き締まる思いを抱くと共に、今後一層の神明奉仕と神社護持に努めることを誓う。表彰式終了後、東郷神社を正式参拝し、東郷記念館にての祝賀会では根津庁長を始め皆様からお祝いして戴き、お祝いの言葉も頂戴した。表彰して戴き、なおかつ祝賀会までは御辞退すべきであったが皆様の御好意に甘えさせて戴いた。今回の表彰規程第三条第二号は



「奉仕神社ノ造営復興ソノ他神社ノ施設経営ニ特別ノ功労アル者」とある。当諏訪神社は昭和六十年、鳥居、随神門の改築、平成三年本殿修復、拝殿改築、神輿庫並びにお札所、水舎の新築、平成九年、諏訪神社の末社の十三所社本殿の改築、平成十六年、諏訪神社の御柱祭を祝し、末社の御柱社本殿新築、御柱祭具取納庫を諏訪神社境内地に新築など、当時の総代さん、神社庁・神社関係者に御苦勞をかけ、末社を含めた神社整備を行ったこと、個々の氏子を代表して戴いた表彰であると感じた次第である。今後も微力ながら神明奉仕と神社の整備に努め神徳の発揚に努めて行きたいと思います。今回の受賞に対し皆様に厚くお礼申し上げます。

一都七県神政連協議会時局研修会

神道政治連盟山梨県本部 幹事長 渡 邊 平 一 郎

去る五月二十七日自民党本部に於いて一都七県神道政治連盟協議会主催の時局研修会が開催された。

まず開会式では、研修会主管の神政連神奈川県本部の石川正人本部長の「有村治子参議院議員への力強い支援をお願いしたい」との挨拶があり、続いて、長曾我部延昭神政連会長が来賓として挨拶し「有村治子議員を応援することは、神社・神道の在り方を示すことにつながり、それを説明することが教化活動の一つとなる」と述べられた。その後、山谷えり子参議院議員が挨拶され、昨年の夏に、沖縄尖閣諸島周辺海域で齎行された洋上慰霊祭に参列したことや、有村治子議員の活躍を話された。開会式に続いて応援演説があり、萩生田光一衆議院議員は、有村議員をはじめ同じ志を持つ議員と協力して、自虐の歴史観を是正する必要性を述べ問題解決に尽力する旨を語り、大島理森衆議院議員は、日本の歴史と伝統の素晴らしいものを残してゆくには、有村議員の役割が非常に大きいことを述べられた。有村治子議員の国政報告のな



神道政治連盟規定表彰

を受けて

神道政治連盟山梨県副本部長

小 尾 武

紫陽花の美しい此の季節、六

月十二日神社本庁二階大講堂にて、平成二十五年神道政治連盟中央委員会が午前十時より行われ、修祓、神殿拝礼、国歌斉唱、宣言綱領と続き長曾我部延昭会長のご挨拶の中で、本年は伊勢神宮では第六十二回神宮式年遷宮が斉行される目出たい年でも有り、安倍内閣誕生により、神道政治連盟を初め、国民も期待しているとお話が有りました。神道政治連盟も四十五年の歴史の中、皇位継承、靖国神社、教育問題、憲法問題等神政連としてこれからしつかり、取り組んでいかねばならないとの挨拶がありました。

式典の後、全国から二十四名が前列に並び、本連盟の活動方針に則り、多年に亘り国民運動に積極的に取り組み、諸政策推進に極めて顕著な実績を示されたとお言葉を戴き、身に余る

光栄であります。

これからの日本の国を支えて行く、神社・神道政治連盟の役目は大きいものがあると思います。今回の表彰を契機に今後共、微力ではございますが、少しでも神社及び神道政治連盟のため

神道政治連盟中央委員会報告

神政連本部長 佐々木 幸 永

に役に立てますよう、努めて参りたいと考えております。役員改選で総務役員に渡辺平一郎幹事長が選任されました。名譽のことと思います。今後のご活躍をご期待申し上げます。

平成二十五年六月十一日神政連本部長事務局長連絡会が行われた。安倍政権を支えるようにとの長曾我部会長挨拶に続き、湯澤事務局長より神政連レポート「意」第一八五号、一都七県神政連協議会時局研修会、都道府県本部研修会、本部長異動等の業務報告。また皇室の尊厳護持運動、国家主権を巡る諸問題への対応、自主憲法制定運動、教育の正常化と正しい歴史観を後世に伝える運動、靖国神社公式参拝、国家護持運動等の各運動について。さらに政教関係訴訟対策、夫婦別姓制問題、北朝鮮による拉致問題、その他必要

に依じての対策等現況連絡、又年度別会員数及び会費納入並びに二十四年度協賛金納入現況、第二十三回参議院議員選挙への取り組みについて等の連絡があった。その後五時半よりホテルニューオータニに於いて国会議員懇談会との合同懇談会が安倍総理も同席し行われた。

翌十二日午前十時中央委員会。開会儀礼に続き長曾我部延昭会長挨拶、田中恆清総長より「政権に協力し、また更に応援して行く」徳川康久靖国神社宮司「国を守った人々を敬い、慰霊しなければ誰が国を守る気になるだろうか、英霊の顕彰に心致して戴き、神社の為にもお力添えをお願い致します。」高市早苗自民党政務調査会長、「自主憲法制定に向かっています。同志を一人でも多く増して下さい。」などの挨拶に続き宮崎義敬顧問を紹介し来賓祝辞を終えて議事に入る。各議案は原案通り承認されたが、安全保障については北海道、島根、栃木の委員からの発議もあり、根本的な立て直しが必要である。領土・領海を守る為には、近隣諸国からの不法な侵犯や、圧力に対する政府の毅然たる対応と、それを支える国民の強い意志と結束が不可欠である。国民意識を喚起し、政府の対策を支援することを決定した。役員改選では、正副会長、幹事長、総務会長再任、当県の渡邊平一郎氏が総務に就任した。

中曽根弘文会長代行より「政権を奪還できました。振を脱却して日本の心を取り戻す。有村治子副幹事長、お力添えをお願いします。」との挨拶とお願ひもあった。



神社庁外郭団体新役員紹介

平成二十五年四月一日、
平成二十八年三月三十一日

山梨県神道青年会

会 長 若宮八幡宮 藤原永起

副会長 稲積神社 根津佳明

副会長 表門神社 今村和弘

副会長 武田神社 遠藤倫生

監 事 吉本富士高社 田邊將之

監 事 甲斐奈神社 中川武仁

教化部長 浅間神社 藤巻普紀

広報部長 吉本富士高社 小澤輝展

事業部長 武田神社 佐野浩一郎

事務局長 吉本富士高社 竹埜元木

事務局次長 若宮八幡神社 金子雄紀

渉外担当理事 甲斐奈神社 高原光啓

山梨県女子神職会

会 長 比枝神社 津金八千代

副会長 武田神社 網藏五十鈴

会 計 稲積神社 土肥東宮

事務局 御崎神社 上條節子
監 事 逸見神社 篠原いさを
監 事 船形神社 平嶋敏子

山梨県教育関係神職協議会

会 長 王法子神社 輿石 仁

副会長 古宮太神社 高野英夫

事務局長 吉本富士高社 小佐野文男

監 事 神明社 竹俣忠洲

監 事 浅間諏訪神社 郷田盛直

常任相談役 浅間神社 伊藤裕久

山梨県氏子青年協議会

会 長 吉本富士高社 酒井宏知

副会長 山梨護國神社 大嶋博幸

副会長 稲積神社 大澤慶暢

山梨県神職保護司会

会 長 稲積神社 根津泰昇

副会長 武田八幡宮 内藤佑介
副会長 武田神社 佐々木高仁
理事・事務局長 宇波刀神社 石原 鎮
理事・事務局次長 金山神社 金子寿元
監 事 稲積神社 神戸 勉
相談役 王法子神社 輿石 仁
名誉会長 若宮八幡神社 望月久男

山梨県神道雅楽会

会 長 穴切大神社 秋山忠也

副会長 金山神社 金子寿元

理 事 牛倉神社 中村宗彦

理 事 天神社 松田公仁

理 事 稲積神社 篠原康正

山梨県敬神婦人連合会

会 長 武田神社 乙黒夏恵

副会長 住吉神社 神戸 鶏子

副会長 稲積神社 丹澤起恵子

副会長 八王子神社 中村政代

支部総会報告

峡北支部総代会総会

日時 五月十六日(木) 午後二時

場所 魚光会館

東八代支部総会

日時 五月十八日(土) 午後二時

場所 浅間神社

峡南支部総代会総会

日時 六月二日(日) 午後三時三十分

場所 中富総合会館

峡中支部総会

日時 六月二十六日(水) 午前十時

場所 櫛形生涯学習センター

各総会には根津庁長、中込総代会
会長が出席しました

今後開催予定の支部総会

甲府支部神職総代会合同総会

日時 七月二十三日(火) 午後二時

場所 ベルクラシック甲府

北都留支部総代会総会

日時 七月二十四日(水) 午後二時

場所 大月市民会館

峡北支部神職総会

日時 七月二十六日(金) 午後三時

場所 魚光会館

東山梨支部総会

日時 八月三十一日(土) 午後二時三十分

場所 山梨市民会館

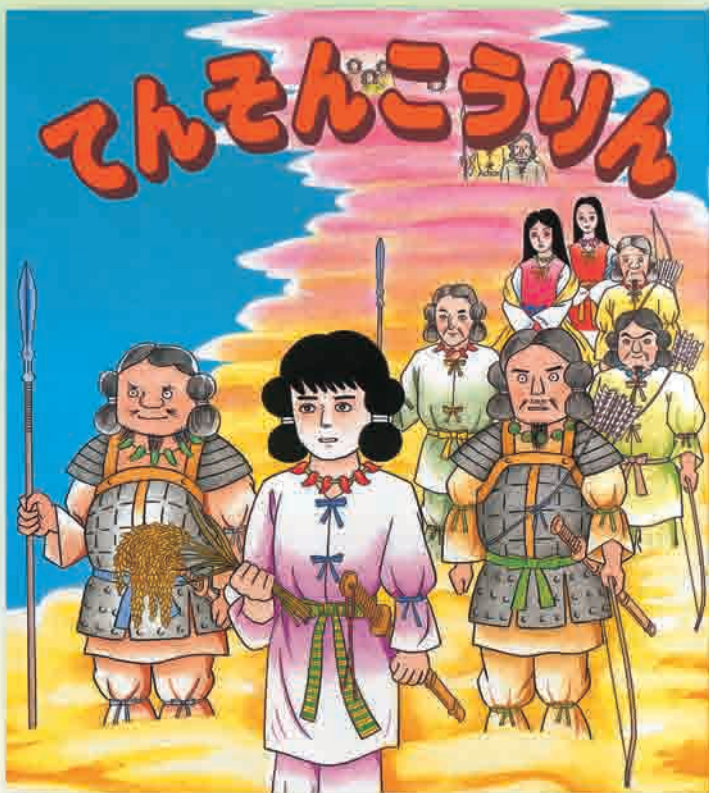
南都留神社関係者大会

日時 十一月六日(水) 午後三時

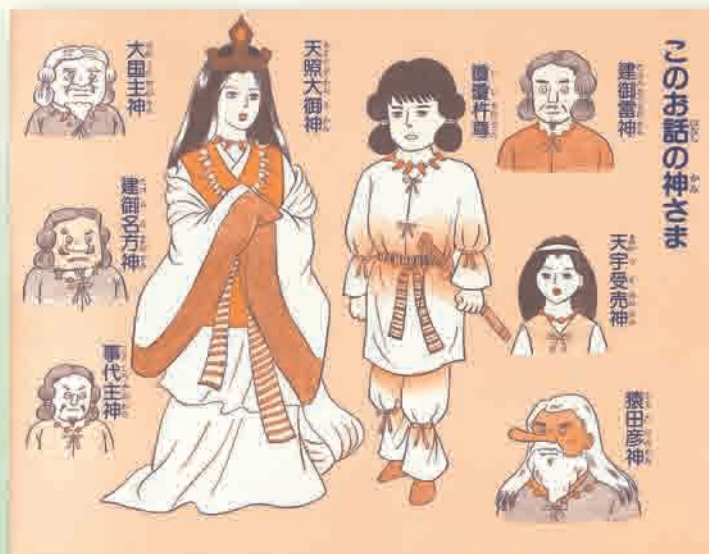
場所 ハイランドリゾートホテル&スパ

まんが古事記

てんそんこうりん (第一話)



お子さん、お孫さんと、
神話の世界をお楽しみ下さい。



「全国神社保育団体連合会」提供

問い合わせ 東京都渋谷区代々木一―一―

神社本庁内

電話 〇三―三三三九―八〇一―

一冊 一二〇円

あらすじ

葦原中国は、

天照大神が国造

りをされていま

したが、天照大

御神さまは、こ

の国をもつと豊

かで、平和な国

にされようと、

瓊杵尊を天降

らせることにし

ました。

そこで建御雷

神を使いとして

葦原中国に赴か

せ、天照大神に

天神の御子を天

降らす旨を伝え

ました。

天照大神には

事代主神、建御

名方神という息

子がいましたが、

この二人の息子

が納得するなら

ば、国をたてま

つるといので

した。





レイテ島戦没者慰霊祭

山梨県護國神社

榎 宜

羽中田 康 司

山梨県護國神社では、六月十七日より二十日に掛けてフィリピン共和国レイテ島、セブ島にて海外慰霊祭と慰霊巡拝を斎行致しました。

この度の慰霊祭は、終戦六十八年を迎え御遺族の減少と戦友団体の解散にともない、当社として英霊が散華をされた戦歿地での慰霊の継承の他、御遺族以外の方々に戦地を訪れて頂く機会を設ける事が目的でありました。

慰霊祭を斎行致しましたフィリピン共和国は、郷土部隊であります甲府連隊、陸軍第一師団歩兵第四十九連隊の終焉の地で



あり、また多くの方々が山梨県から海軍の将兵として出征し、レイテ沖海戦において散華をされた地でもあります。

当県の英霊と関わりのあるレイテ島を訪れた慰霊団は、県内在住の御遺族と神職有志の方々、当社と以前より親交のある福井県護國神社の神職が参加をし総勢十九名となりました。

慰霊団は、六月十八日にドラグ海岸にて海軍戦歿者慰霊祭、リモン峠にて陸軍戦歿者慰霊祭を執り行いました。当日は、午前は晴れ午後は雨となりましたが、慰霊祭に支障はありませんでした。これも御遺族の心が天に届いた賜と思われれます。

午前のドラグ海岸では、近隣の方々が見守る中で祭儀が始まりました。レイテ沖を望みながら参列者全員で英霊に黙祷を捧げ、国歌斉唱を致しました。

祭壇には山梨県より持ち寄った米や水、酒などと共に御遺族が故郷の写真や手紙、花を捧げられていました。祭典の中で御遺族の代表の方による慰霊の詞奉上に際し、肩を揺らし涙を流されていた姿を拝見し、御遺族の無念の気持ち伝わり、万感

胸に迫る思いが致しました。

慰霊の詞の後、武田神社様のご好意で巫女を同行させて頂き、霊前において浦安の舞が奉奏されました。浦安の舞は平和を祈る舞であります。ご覧になった御遺族も様々な思いを抱かれたことでしょう。

祭儀の終了後には、童謡の「ふるさと」、「里の秋」を全員で唱い英霊に捧げました。

同日の午後には、レイテ島での激戦地リモン峠で陸軍戦歿者慰霊祭を斎行致しました。

慰霊団の御遺族の殆どが、このリモン峠でお父様やご兄弟が英霊となりました。祭儀中には、雨が降り出し、さながら御遺族の涙のようにぽつぽつと祭壇を濡らして行きました。

その後、カンキボット山に移動し、参加者全員で献花を致しました。

翌日は、四十九連隊の軌跡を辿り、終焉の地であるセブ島に船で渡りました。同島では、セブ市内の旧陸軍病院で戦病死された英霊の御遺族が一行の中に居られることが当日分かったことから、急きょ同病院を訪れ、慰霊碑に手を合わせ、祈りを捧げました。

次に、セブ島訪問の大きな目的の一つである四十九連隊が最後をむかえた地を目指しました



が、帰路の時間が取れなくなり村まで辿り着くことが出来ませんでした。本当に残念な気持ち一杯で、後ろ髪を引かれつつ同島を後にしました。

今慰霊祭の帰路、参加された御遺族の方々から異口同音に「有意義な巡礼の旅であった」「機会があったら再び参加したい」との言葉が寄せられました。当護國神社では、このような慰霊祭を継続事業として行いたいと考えています。

末筆ではございますが、レイテ島及びセブ島慰霊祭にご参加を賜りました御遺族の皆様を始め、様々なご協力を頂いた神社関係者各位に感謝を申し上げ、御礼と報告に代えさせていただきます。

祭典を斎行して

浅間神社（富士河口湖町河口）

宮司 中 田 進

提灯行列

（世界遺産登録を祝い）

平成二十五年四月二十五日、当神社が世界遺産構成神社として、世界遺産になる可能性が高まっておるなか、例大祭が執り行われた。その数日後の四月三十日、県の世界遺産対策課より「本日イコモスの勧告が出る」との連絡を受け、期待と不安は合格発表の結果を待つような気持ちで時を過ごした。結果は歓迎すべきものとなり氏子崇敬者を始め関係者すべてと喜びを味わえた。村民すべての篤い信仰心を糧に、村の中心であり精神的支柱として存続してきた河口村の象徴である神社が世界遺産登録されることは村民の誇りを盛り上げ、溢れる喜びを味わい、この感激を皆で共有したいとの思いは氏子すべての認識となり、提灯行列を行う事と集約された。氏子総代・関係有志が集い六月二十三日までは世界遺産登録がされるであろうことを予定に、小中学校の生徒が参加しやすい日曜日である六月二十三日に催行されることが確認された。当日まで沢山の意見が寄せられ熱い気持ちは途切れることなく続き本業である仕事を集



中のに片付ける傍ら、皆で力を合わせ成功裏に導こうとする氏子の姿は宮司冥利と、その幸運を感謝する毎日であった。期待していたとおり六月二十二日に正式に世界遺産登録され、当職一人浅間の大神に奉告したときは、嬉しさより責任を重く感じ、更にも自己を律していくことを決意させた。

当日六月二十三日、神社には小中学生を始め多くの人が参加し、用意した提灯五〇〇個が瞬間に配布され、不足する状態になってしまふ誤算もあったが、大盛況のなか提灯行列は催行された。午後六時から浅間大神に祝詞を奏上し、国の無形記録文化財である当神社「稚児の舞」を奉納したあと、神社から富士山を目の前にする河口湖畔までの約二キロの道程の提灯行列は数百メートルも続き、数百の灯りの燈った提灯は幻想的であり、厳粛であり、世界遺産登

録を村中で囁める事が出来た。暗闇の中河口湖の畔、富士に向かい当神社に伝わる「富士祝詞」を奏上し関係者の挨拶のあと、氏子総代長の万歳三唱と同時に花火が打ち上げられ、村民すべての感激と感動のもと提灯行列は無事に終了した。

「世界遺産登録は終わりではなく出発である」とよく耳にする。宮司として世界遺産構成神社を守っていくという事は間違いないか新たにその責任を痛感する提灯行列であった。

浅間神社（南アルプス市江原）

宮司 野 中 陽

「祭りも近いと汽笛は呼ぶが」と五木ひろしさんの歌「ふるさと」の歌い出しにあります。汽笛の音が、ふるさとの懐かしさを心に呼び起こし、笛や太鼓の音色や友の顔が心にうかんでくるのでしよう。

今年一度に花開き百花繚乱の春を迎えました。「まつり」は春の代名詞、恒例の春祭りは、「神輿の渡御」、「神楽の練習や奉納」、「湯立の神事」、「田植え祭り」と、大勢の人により滞りなく斎行してまいりました。少し寂しくなった祭りを盛り上げようと、それぞれの地域で色々な工夫がなされ、大勢の笑顔や子供の賑わい、老若男女の係わりにより御神慮を安じたことが

出来たと感じしております。春祭りは、地域の、皆の「今年も頑張ろうの合言葉」でもあります。今年は伊勢神宮における式年遷宮に併せて出雲大社の大遷宮と重なった「めでたき年」でもあります。日本中が新たな息吹に包まれ、その大御心は地域のすみずみまで、新たな創造の風となつて伝わってまいります。このような年に奉職する江原浅間神社の御神像が国の重要文化財に指定されたのも、非常に御神意を感じる意義あることであつたこととありがたく思っております。

神様の前に静かに頭を垂れ、手を合わせ祈る参拝者の姿は、境内にすがすがしい光景として美しく浮かびあがります。神職として、参拝者がこのような落ち着いた心を乱すことなく毎日をご祈願することが出来まふよう心からお祈りしたいものだと感じしております。



神社庁関係団体報告

神道青年会周年事業報告

山梨県神道青年会

会長 藤 原 永 起

さる二月二十五日から二十七日にかけて宮城県石巻市金華山黄金山神社へ、千葉県神道青年会の宮崎会長（当時）と山梨県神道青年会七名（田邊將之、根津佳明、今村和弘、竹埜元木、佐野浩一郎、高阪雄次、藤原永起）にて復興支援活動をして参りました。

金華山黄金山神社は神青協からも復興支援活動の協力要請があり、また本年度は已年大祭の御縁年とも相重なり何としても境内整備社殿の修繕を為し遂げたいと強い思いがありました。我々青年神職といたしまして、その思いに応えるべく一日も早い復興に微力ではございましたがお力をお貸しするべく復興支援活動をして参りました。

まず金華山へは鮎川港よりフェリーにて渡らなければなりません。当会では以前一度そのフェリーが悪天候の為渡航できず金華山へ行けないということがありました。不安とともに港に向かい渡航可の確認ができると



一同一安心致しました。現地での作業は黄金山神社奥宮の社殿修繕に使用する御用材運搬でした。小川を渡り、岩山を乗り越え、頂上付近の積雪に注意しながら、片道一時間往復二時間の非常に長い道のりを皆必死の思いで御用材を奥宮まで運びました。二日間て計四回登頂しましたが、着々と進む奥宮の修繕の様子が垣間見ながら、皆神職としての心持を再認識されたのではないかと思う次第でした。御用材も修繕箇所により様々でそれにより運搬方法も工夫致しました。二人一組で前後を交代しながらの運搬、また神青協より

奉納された背負子を利用し効率良く運搬と各々工夫しながら奥宮の復興に主力で取り組みました。青年会では幾度となく被災地へ赴き復興活動をして参りましたが、赴くたびに作業内容が変化していききました。時間をかければ被災地の復興は必ず成し遂げられるでしょう。しかし、被災者のこころは赴く度、重く深いものになっている様に感じます。我々神職としてできることそれは被災者の心のケアではないでしょうか。日頃の修行？の成果を発揮し現地にて多くの方々と酒を酌み交わし親睦を深めて参りました。また、一日でも早く社殿が完成し、心の拠り所を取り戻すことができればと切に願うばかりです。

これからも、〃忘れない、風化させない〃の気持ちを旨に復興支援活動を行って参りますので、どうか皆様方のご協力の程お願い申し上げます。

さる四月二十三日に神社本庁にて開催されました神青協総会に於きまして、山梨県神道青年

会創立六十周年記念事業の一つとして活動して参りました新編山梨県神社誌編纂事業が最優秀事業賞を受賞しました。

青年会員一丸となり県内千二百六十七社の写真撮影等編集作業を行いました。このような大変な賞を受賞することができ衷心より感謝申し上げます。この事業に多大な御協力いただきました宮司様、総代様、皆様方の御理解と御尽力により、栄誉ある賞を受賞することができました。ここにこの報告を兼ね御礼を申し上げます。ありがとうございました。

氏子青年協議会総会報告

山梨県氏子青年協議会

会長 酒 井 宏 知

本年六月二十三日日曜日。北日本宮富士浅間神社におきまして、山梨県氏子青年協議会定例総会が執り行われました。

初春に行われた総会において役員改正が行われ、今回は新役員の下、初の定例総会でございます。このため、鶴田前会長に前年度分を、新年度の議事を新会長である私が取り仕切らせていただき、肅々と議事を進行することができました。本年も全国氏子青年協議会総会に継続参

山梨県神社誌

加できることが報告され、新会長としても胸をなでおろす次第でございます。

挨拶としまして、前日の二十日に富士山の世界文化遺産登録がユネスコにて承認された事に触れました。富士の国国文祭という文化に関するイベントも本年執り行われており、山梨県は日本中ひいては世界中から注目を浴びる場所となりました。

これを受けまして七月一日に皇太子殿下の北口本宮富士浅間神社行啓がございます。このお迎えに關しても山梨県氏子青年協議会会員の協力を得まして参加する事も決定いたしました。

このように本年は突発的な行事が多数開催されることと思われまふ。我が山梨県氏子青年協議会もできる限り参加し、氏子青年および神社界の発展の為、努めてゆきたいと思う所存でございます。

第二十四回

全国神職保護司会総会報告

山梨県神職保護司会

宮 下 重 範

今年の全国神職保護司会総会は、出雲国の玉造温泉において、全国から六十名余の神職保護司が集い開催されました。

会長の式辞や、松江保護観察所長の祝辞で、更生保護の課題のひとつである再犯率の高さ、特に出所者の約三割の者が約六割の犯罪を起こしているという憂慮すべき状況があり、円滑な社会復帰を進めるため対象者と向き合い、立ち直りを支えて行くためには宗教家としての関わりが必要不可欠である。

総会は平成二十四年度の事業報告と決算、二十五年度の事業計画と予算など順調に承認・決議された後、役員の改選がなされました。

山梨県の根津会長は引続き常任理事として会の運営を担って行くこととなりました。

引続いて、島根県神社庁参事の錦田剛志さんによる、「伊勢・出雲・日本よみがえりのとき」と題して講演が行われ、御遷宮により御神威・御神徳の発揚がなされ、原点・原初に還ることで永遠の祈り、永遠のいのちが継承されてゆく、まさに日本よみがえりのとき、魂の復活のときであることが述べられ、感銘を受けたところです。翌二日目は、六十年ぶりの「平成の大遷宮」が済んだばかりの出雲大社へ正式参拝を行い、広大な敷地に聳え立つ壮大な御社殿に圧倒されました。

東京矯正管区教誨師研修 神奈川県大会報告

神社本庁教誨師

山梨県 佐々木 高 仁

六月十九日、二十日の二日にわたって、標記の大会が横浜ベイシエトラホテルを会場に開催され二百十五名の教誨師と六十九名の施設職員が参加して、「いま、教誨に願われていること」を主題に、「被收容者から期待される宗教教誨」を副題として研修が行われた。

宗教教誨の重要性は、社会復帰をめざす被收容者の改善更生に資するにあり、被收容者が被害者の視点に立ち、自らの更生に向かう意欲を醸成する為とはどのような教誨が期待されるのか。

研究討議は第一部、少年施設の部。第二部、A指標施設（犯罪傾向がすすんでいない被收容者の施設）の部。第三部、B指標施設（犯罪傾向がすすんでい

る被收容者の施設）についてそれぞれ施設の教誨師から日頃の教誨で実施している事例の発表を受け、全員で討議を行った。二日目には、ジャーナリスト櫻井よしこ氏の「今、私たちが出来ることはなにか」と題する記念講演を拝聴しました。

山梨県敬神婦人連合会 総会報告

山梨県敬神婦人連合会

会長 乙 黒 夏 恵

山梨県敬神婦人連合会総会が六月二十四日神社庁会議室において約五十名の参加のもとに開催され、平成二十四年度事業報告決算報告及び二十五年度の事業計画、予算案が審議され、いづれも承認されました。又全国敬神婦人大会が今年は九月三日島根県民会館にて開催。それに伴い出雲大社、八重垣神社に参拝する旅行が提案され、満場一致で可決されました。総会の後有村治子先生の講演を予定しておりましたが、選挙前でお忙しく欠席されました。急遽古屋事務局長より式年遷宮のお話を伺うこととなりました。遷宮とは御神体を新しい御殿にお移り戴き神様のお力が一層強くなる事、二十年毎に千三百年もの間継承され世界でも類をみない事、ご神宝も継承しその技術を次の世代に伝えるのに二十年が適切な年代である事等。とても有意義なお話を伺うことが出来ました。この十一月の新穀感謝祭には新たな気持ちで参拝していただきたいと思う総会でした。

全国女子神職会研修会報告

山梨県女子神職会

会長 津 金 八千代

この度の役員改選に伴い、前会長宮下富枝氏より引き継ぎ、山梨県女子神職会会長を拝命致しました津金八千代でございます。まず、神様にお仕えする身として当然の事ながら、日々、未熟な自分を省み、齎き参る所存でございますので何卒宜しくお願い申し上げます。『女子神職だからできる事』地域の氏子や一般の方々（子供からお年寄迄幅広い皆さん）に対して神様と繋がる清々しさ、本当の意味での感動・感謝などを、女子神職である私達が言葉で砕き行動する事から感じて頂けます様に、会員一同一丸となり研鑽を積み、骨身を惜しまず努力して参ります。

さて、就任後初の全国女子神職協議会代議委員会が、去る七月十一日、日本文化興隆財団に於いて開催されました。先ず、東日本大震災により、尊い命を失われた方々の御霊に黙祷を捧げ、来賓祝辞に続き、新役員が議決承認されました。加えて、三期に亘り寄せられました東日本大震災義援金は、総額一千二百三十万円。その内、各県へ義

援金見舞金として送付し、会員全員にボンボリを、浄衣・袴を各三十六ずつ送付されました事が報告され、義援金活動は引き続き行われる事が承諾されました。今年は折りしも神宮御遷宮の年、協議会も設立二十五周年を迎え、記念事業として七月二十六日～二十八日お白石持行事

靖國神社参拝・大神社展拝観旅行

去る四月二十六日、神道政治連盟山梨県本部主催の靖國神社参拝・大神社展拝観旅行が行われ、県内よりおよそ一〇〇名が参加しました。県内各所よりバス三台が談合坂で合流。一路、靖國神社へ向かいました。

十時過ぎに靖國神社に到着。議会の合間を縫ってお越し頂いた山谷えり子参議院議員をはじめ、宮川典子衆議院議員、中谷真一衆議院議員のご挨拶の後、靖國神社を正式参拝し、英霊に感謝と追悼の念を捧げました。昼食の後、上野の東京国立博物館にて開催中の「国宝・大神社展」を拝観しました。この展覧会は、今秋に伊勢の神宮で式年遷宮が斎行されるにあたり、

奉仕、平成二十六年二月二十一日神宮会館に於いて記念大会が予定されております。最後に各単体会から活動状況の報告と東北地区会員より謝辞が申し述べられ散会となりました。皆様方には今後とも女子神職会が発展致します様益々の御尽力を宜しくお願い申し上げます。

神社本庁をはじめ、全国神社の協力により、多数の国宝・重要文化財を含む約二百点が展示されているものです。当時の職人技術の技を尽くした御神宝や装束などを目の当たりにすると、先人たちの神々に対する畏敬の念や感謝の思いが自ずと感ぜられます。「全国的神社パワーを結集した空前絶後の神道美術展！」と謳われているだけことはあり、一時間半では全てを拝観するのに充分ではありませんでした。しかし、参加された方は皆、その「全国的神社パワー」を目の当たりにし、とても満ち足りた様子で山梨への帰路に就きました。

表紙写真説明

富士スバルラインの終点に鎮座する富士山小御嶽神社には、雪解けの四月から降雪の一月上旬まで、約百万人の登拝がある。小御嶽は昭和初期の学術調査で実は富士山よりも古い火山であることが解っている。

主祭神は磐長姫命で、浅間神社に祀られる木花開耶姫の姉神である。

当社祭礼のうち、七月一日の開山祭（ご来光を拝し午前五時（宵行）は最もよく知られ、神事後の後天狗・小天狗が鳥居の注連縄を切って道開きを行う。その際、女性の負ふ富士型神輿、さらには飾り神輿が渡御し、登山者の安全と富士山の平静とが祈られる。

富士講以来の山岳信仰は脈々と継承され、今日なお絶えることなく人々の胸に生きつづけている。

（富士山小御嶽神社 宮司 小佐野正史）



富士山世界文化遺産指定と神社界

北口本宮富士浅間神社 宮司 上文司 厚

六月二十二日夕刻、富士山世界文化遺産登録決定の報が届いた。富士山麓は云々までもなく、日本中が沸きかえった日だった。先んじて四月三十日、国際記念物遺跡会議（イコモス）の登録勧告以来、登録への秒読みが始まり、関連する様々な催しや会合、報道各社の取材に呼びがかかり、俄かに繁多になった。文化遺産の構成資産である当社への参拝者も邦人、外国人ともに増加している。些かの懸念も無いとはいえず、神社にあらゆる多くの人の目が向くのは大変いい傾向だと捉えている。このことが一過性でないことを願う、また、継続させていく手立てを打たなければならぬと強く感じている。

万葉の昔より富士山は遥拝され崇められてきた神山で、中世頃から山岳修験の修行の場として登拝が始まった。戦国時代頃より独自の教理が形成され始め、富士講が誕生し、江戸時代中期頃より庶民に広く富士信仰が浸透して行き「江戸八百八町に八百八講」と云われる程の

富士講の隆盛があった。降って現代は、富士講は著しく衰退し、数える程に減少してしまった。その反面、ここ数年来、登山者の数は非常に多く、今年は更に相当の増加が見込まれる。その大半は観光目的で、嘗ての富士講の敬虔な登拝とはかなりかけ離れているように見える。しかし、霊山に登ったことで、誰しも畏怖や崇敬を少しでも感じると思う。

今回の世界遺産登録により数多の人々、特に若い世代が、畏きものへの興味を持ち、延いては敬いへと進んでいく絶好の期が到来したのであるから、逃すことのないように取り組んでいくことが必要である。

富士山は遥拝され崇められてきた神山で、中世頃から山岳修験の修行の場として登拝が始まった。戦国時代頃より独自の教理が形成され始め、富士講が誕生し、江戸時代中期頃より庶民に広く富士信仰が浸透して行き「江戸八百八町に八百八講」と云われる程の



祭典日程

9・25	9・23	9・22	9・19	9・18	9・16	9・15	9・14	9・9	9・8	9・7	9・1	8・26	8・25	8・22	8・20	8・18	8・17	8・15	8・13	8・4	8・1	7・31	7・28	7・25	7・21
北杜市高根町熱那神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭
10・25	10・22	10・20	10・19	10・17	10・15	10・14	10・13	10・12	10・10	10・9	10・8	10・6	10・5	10・1	10・1	10・1	10・1	10・1	10・1	10・1	10・1	10・1	10・1	10・1	10・1
山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭	山梨県神奈川大月市駒橋三嶋神社秋祭

今後の予定

第六十二回式年遷宮関連

●お白石持ち行事（第一回）

日時 平成二十五年八月九日（金）
～十日（土）

参加支部 東山梨、東八代、峡南、
峡中、峡北、南都留、北都留

場所 内宮

●お白石持ち行事（第二回）

日時 平成二十五年八月十七日（土）
～十八日（日）

参加支部 甲府

場所 外宮

●お白石持ち行事

日時 平成二十五年八月二十九日（木）
～三十一日（土）

参加団体 武田神社

場所 外宮

●遷御の儀

皇大神宮（内宮）

平成二十五年十月二日（水）
午後八時

豊受大神宮（外宮）
平成二十五年十月五日（土）
午後八時

●新穀感謝祭（第一回）

日時 平成二十五年十一月十九日（火）
～二十日（水）

支部 甲府支部、峡中支部、
峡北支部

●新穀感謝祭（第二回）

日時 平成二十五年十二月二十日（水）
～二十一日（木）

支部 東八代支部、峡南支部、
南都留支部

●神宮式年遷宮記念全国神社関係者大会

日程 平成二十五年十一月二十五日（月）
～三十一日（日）

場所 三重県宮サンプライナ

内容 神社参拝 ゲーム 紙芝居
火鑽り実演 行灯作り 雅楽
鑑賞

参加対象者 小学生

●初任神職研修会

日時 平成二十五年七月二十七日（土）
～二十八日（日）

場所 山梨県神社庁

参加対象者 初任神職研修未受講の神職

場所 山梨県神社庁

参加対象者 初任神職研修未受講の神職

●雅楽研修会

日時 平成二十五年八月二日（金）
～三日（土）

場所 甲府ニュー芙蓉

●第十三回神社関係者囲碁大会

主催 山梨県神社庁

主管 山梨県教育関係神職協議会

後援 山梨県神社総代会、山梨日日
新聞社、山梨放送

日時 平成二十五年八月十六日（金）
午前九時～

会場 山梨県神社庁

参加資格 一般の部

一般の部 神職・総代・氏子崇敬者
青少年の部
小中学生（各部門一〇名程度）

参加費 一般の部 一団体につき
五、〇〇〇円

申込期日 七月三十一日（水）まで

申込先 山梨県神社庁

※問い合わせ先

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

高野 英夫 〇五三・四四・二五〇
小佐野文夫 〇八〇・五四・一〇一・三〇三

●全国神社総代会大会

大会日時 平成二十五年九月十日（火）
午後一時開会

会場 愛媛県県民文化会館

研修旅行 平成二十五年九月十日（火）
～十一日（水）

旅行費用 六五、〇〇〇円

●山梨県神社関係者大会

日時 平成二十五年十月二十八日（月）
午後一時

場所 コラニー文化ホール（山梨県
立県民文化ホール）大ホール

内容 第一部 神宮大磨暦頒布始祭
第二部 式典
第三部 清興（立川談慶）

第二部 式典

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

第三部 清興（立川談慶）

神社庁庁報委員

次の委員で庁報を編集して参ります。

武田神社 委員長 佐々木高仁

武田神社 委員 内藤 寛

稲積神社 委員 土肥 東宮

黒戸奈神社 委員 田邊 芳弘

比枝神社 委員 津金八千代

浅間神社 委員 古屋 真弘

一宮賀茂神社 委員 稲葉 政信

武田八幡宮 委員 内藤 佑介

若宮八幡宮 委員 藤原 永起

牛倉神社 委員 中村 宗彦

大神社 委員 天野 武